



# わが進明

〈校訓〉 明るく・正しく・たくましく

URL <https://www.fukui-city.ed.jp/shinmei-j/>



福井市進明中学校  
学校だより 第9号  
令和8年1月21日

新しい年を迎え、令和8年も進明中学校の生徒一人一人が「(校訓) 明るく・正しく・たくましく」成長できる一年となることを願っています。

「わが進明」本号では、「学校評価(保護者・教職員)」について、報告します。

## 〈保護者評価〉

質問	質問内容(保護者評価)	スクールプラン数値目標	R7	R6	比較
1	我が子は、家や地域であいさつしている。		88.6	91.0	-2.5
2	我が子は、中学生らしく、きちんとした服装で学校生活を送っている。		96.9	96.3	0.6
3	我が子は、他に対する思いやりや正義を大切にする心が育っている。		95.1	92.3	2.8
4	我が子は、基礎基本の学習内容をしっかり身につけている。		55.6	61.2	-5.6
5	我が子は、家庭学習に意欲をもって取り組んでいる。		53.6	56.0	-2.4
6	我が子は、学校で清掃活動や生徒会・学級活動に熱心に取り組んでいる。		81.7	81.8	-0.1
7	我が子は、部活動に意欲的に取り組んでいる。		86.1	80.9	5.2
8	我が子は、つきたい職業など、夢や目標を持っている。		52.4	54.7	-2.2
9	我が子は、学校であったことをよく話してくれる。	75%	73.6	72.0	1.6
10	我が子は、学校生活を楽しんでおり、友人関係も良好である。		91.5	92.1	-0.5
11	我が子は、スマートルールや家庭のルールを守って、スマホやパソコン等を使っている。		45.2	50.6	-5.4
12	学校は、生徒の不安や悩み事に真剣に対応している。		89.9	87.9	2.0
13	学校は、不審者への対応や交通安全などの安全面について適切に指導している。		96.2	92.0	4.2
14	学校は、体験的な学習を積極的に取り入れ、学習活動の充実に努めている。	85%	94.8	92.3	2.4
15	学校は、健康的な体づくりや食育に力を入れている。		95.5	86.5	9.0
16	学校は、将来に向けて適切な職業観を育てる進路指導を行っている。		93.0	88.7	4.3
17	学校祭などの行事では、子どもたちが力を発揮し、活躍する場がある。		96.6	95.2	1.4
18	学校は、校舎内外の清掃や整美が行き届いている。		93.7	94.4	-0.7
19	学校は、子どもたち一人一人を大切に、温かく指導している。	90%	93.8	93.1	0.7
20	学校は「PTA総会」「懇談会」「学校だより・学年だより」等を通じて保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。		97.1	96.6	0.5
21	授業参観や学校行事等、学校での教育活動の公開が十分なされている。	90%	99.2	96.5	2.7
22	子どものことで、気軽に学校に相談できる。		84.5	84.7	-0.2
23	電話をかけたときや学校を訪れたときの教職員の対応は良い。		94.5	91.0	3.5
24	学校は、保護者や地域の方々の願いや信頼に応えようと努力している。		95.7	91.6	4.1
25	教職員定時退庁日をはじめとする働き方改革の取組を理解できる。		97.1	97.0	0.1

質問1～11番は、「我が子は～」の評価です。学校のことをよく話してくれる生徒が73.6に増加し、服装や思いやり、正義を大切にする心が育っていると昨年度より、高評価です。一方、大きく数値を下げていた質問が4、11番です。成績連絡票や答案用紙を保護者が確認したところ、基礎基本の学習内容が身につけていないこと、SNSのルールを守られず使用していること、この2点が負のスパイラルとなり心配している保護者の状況が垣間見えます。また、それに関連して、5番の家庭学習に意欲をもっていない生徒が増加していることにも繋がっていると推測できます。

令和7年度全国学力・学習状況調査結果公表(令和7.9.30)によると、「平日の学校外での1日当たりの勉強時間の設問と

各教科の平均正答率・スコアとの間には相関が見られる。」「休日の1日当たりの勉強時間の設問と各教科の平均正答率・スコアとの間には相関が見られる。」とされています。SNS 等の使用に時間を費やすのではなく、いかに日々の学習時間を確保して、学びに取り組むことが課題といえます。

質問 12～25 番は、「学校は～」の評価です。昨年度、これらの質問の評価がいずれも上昇し、高評価を得ることができました。今年度は、さらに良好な回答になっており、大変ありがたいことです。質問 20、21 番については、驚異的な高数値で、保護者のみなさまが本校の教育活動に深く関心をもち、授業参観や学年通信の返信等をされていることが伺えます。

4月に掲載した「スクールプラン」の重点目標(9、14、19、21 番)に対する数値目標を考察すると、9 番は目標値を達成できていません。生徒は学校での授業や学校行事等で自分が成長しているとか、充実感を得られるなどの変化を感じれば、自ずと親子の会話も増加すると考えます。14、19、21 番は年間指導計画の見直し、人権教育の充実、保護者の方へ早めの周知などの成果であると考えます。

### ＜ 教職員評価 ＞

質問	質 問 内 容(教職員)	スクールプラン数値目標	R7	R6	比較
1	自分は、生徒が場にあったあいさつができるよう適切に指導している。		100.0	100.0	0.0
2	自分は、生徒のよくない行動や態度に対して適切な指導をしている。		100.0	100.0	0.0
3	自分は、子どもたちの悩みや相談に親身になって対応している。		95.7	100.0	-4.3
4	自分は、生徒の良い点やがんばっている点を積極的に認め、ほめている		95.7	100.0	-4.3
5	自分は、特別支援教育に関する理解や指導力の向上に努めている。		100.0	90.0	10.0
6	自分は、体験的な学習や探究的な活動を授業に積極的に取り入れている。		78.3	90.0	-11.7
7	自分は生徒が積極的に対話ができたり生徒の発言や質問を生かしたりして思考を深めていく授業に努めている。100%		91.3	100.0	-8.7
8	自分は、積極的にICT機器を活用した授業づくりを工夫している。		65.2	89.0	-23.8
9	自分は、生徒が適切に家庭学習に取り組めるよう指導している。		100.0	95.0	5.0
10	自分は、自己の体験を話すなど、生徒が希望をもって将来を考えるような指導に心がけている。		100.0	100.0	0.0
11	自分は、道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。		100.0	89.0	11.0
12	自分は、互いに認め合うあたたかな集団づくりに努めている。		95.7	100.0	-4.3
13	自分は、報告・連絡・相談を適切に行い、他と連携・協力して仕事を進めている。		100.0	94.0	6.0
14	自分は、保護者との意思疎通や、電話、来校者に対する対応を誠実にやっている。		100.0	100.0	0.0
15	自分は、自分自身のタイムマネジメントや働き方改革を意識して仕事を進めている。		87.0	90.0	-3.0
16	本校の子どもたちは楽しく学校生活を送っている。		100.0	84.0	16.0
17	本校は、授業の改革や教員の指導力向上に熱心に取り組んでいる。		95.7	100.0	-4.3
18	本校は、地域や関係機関のとの連携を適切にとって子どもたちの指導を行っている。		100.0	89.0	11.0
19	本校は、めざす生徒像や研究主題を推進するための具体的な取組を行っている。		95.7	100.0	-4.3
20	本校は、発達段階や児童生徒一人一人の生徒に応じた授業づくりに、熱心に取り組んでいる。		91.3	100.0	-8.7
21	本校は、道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。		100.0	100.0	0.0
22	本校は、児童生徒が夢や目標を持ちその実現に向け努力するようキャリア教育に力を入れている。100%		100.0	100.0	0.0
23	本校は、関係機関と連携をとったり、校内で情報を共有したりして、気になる児童生徒に十分な支援を行っている。		100.0	100.0	0.0
24	本校は、児童生徒が郷土福井への関心を高めたり、大切に感じたりできる活動に十分取り組んでいる。		82.6	74.0	8.6
25	本校はスクールプランに基づき、目指すこどもの姿の実現に向けて協働して取り組んでいる。		100.0	95.0	5.0
26	子どもたちの効果的な学びのために、PC・タブレットなどのICT機器を、(1クラスあたり)どの程度使用しましたか。		60.9	58.0	2.9

教職員の評価は、1番から 15 番は「自分は～」なので、教職員の自己評価です。6番体験的な学習や探究的な活動を授業に積極的に取り入れること、8番積極的に ICT 機器を活用した授業づくりに課題がありました。これは、2つとも教職員の本命である「授業づくり」のことです。本校の教職員は、研究主題に則り、わかる授業づくりのため、自分の授業の教材研究をもっと充実したいという意欲の表れと考えます。教職員の教材研究が、より推進できる体制づくりが必要です。

「スクールプラン」の重点目標(7、22 番)に対する数値目標を考察すると、7 番は本校の研究主題と直結する内容です。今後とも、重点項目「わかる授業づくり」「居場所づくり・絆づくり」「キャリア教育の充実」「家庭・地域や中学校区との連携」の充実を図り、スクールプランに基づき、目指す生徒像の育成に邁進していきます。

この学校評価については、第2回家庭・地域・学校協議会(2月)で、委員の方々にお知らせし、ご意見を伺い次年度への改善に活用していく予定です。